

問6 お住いの地域の身の回りの環境の満足度、重要度についてお聞きします。次の中から当てはまるものを、それぞれ1つ選び番号を で囲んでください。

項 目	満足度					重要度				
	そう思う	ある程度そう思う	あまり思わない	思わない	わからない	重要	まあ重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
1. 地球環境の保全につながる取組(省エネなど)は、十分に行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 資源エネルギーの利活用につながる取組(再生可能エネルギーの推進など)は、十分に行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 自然環境(水や緑、生き物など)は豊かだと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 生活環境(大気の水質など)は健全で快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 生活環境(ごみの分別収集・リサイクルなど)は健全で快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 都市環境(まちづくりや景観、交通など)は快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 山や川などの自然の景色は美しいと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 文化的歴史的な財産は保全されていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 安全・安心な食品や、農作物が提供されていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 学校で環境教育が行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 市民一人一人の環境に対する意識は高いと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 行政の環境に対する啓発や施策は行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたが日常生活の中で実践している環境に関する取組みについて、各項目からそれぞれ最も近いものを1つ選び番号を で囲んでください。

また、「4 実行する予定はない」とお答えいただいた方は、実行を妨げる主な理由を下欄から選び番号を記入してください。

行 動 内 容	8割以上 実行して いる	5割程度 は実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を 妨げる 主な理由
1. ご家庭や友達と環境に関するお話を する。	1	2	3	4	
2. 自然観察や自然散策(里山歩きなど) のイベントに参加する。	1	2	3	4	
3. 余分な包装は断り、ごみの減量化に 努める。	1	2	3	4	
4. ごみの分別をおこなっている。	1	2	3	4	
5. 食事は、食べきるか、多い場合は、 次からは量を減らしてもらっている。	1	2	3	4	
6. 蛇口の水はこまめに止めている。	1	2	3	4	
7. ごみのポイ捨てはしない。	1	2	3	4	
8. 地域での清掃活動(河川清掃、クリ ーン作戦など)に参加している。	1	2	3	4	
9. 買い物の際はマイバッグを持参する	1	2	3	4	
10. 不必要な照明はこまめに消す	1	2	3	4	
11. エアコンやこたつ等を使用する際、 使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	4	
12. 家電製品はこまめに電源を切る	1	2	3	4	
13. 家電製品を使わない時はプラグをコ ンセントから抜く	1	2	3	4	
14. 家族で風呂に入るとき、時間をあけ ずに入り、追い炊きを控える	1	2	3	4	
15. シャワーの使用回数、使用時間を短 縮する	1	2	3	4	
16. 暖房器具の使用時間や設定温度に 気をつける	1	2	3	4	

< 実行を妨げる主な理由 >

1. 生活の便利さ・快適さが損なわれる 2. 生活習慣を変えたくない 3. 費用がかかる
4. 手間がかかる 5. 効果に疑問がある 6. 忘れてしまう 7. 特に理由はない

3. 環境に関連して、よく使われている言葉についてお聞きします。

問8 あなたは、次に示す言葉をご存知ですか。それぞれ、あてはまる番号を1つ選び、で囲んでください。

項 目	内容を 知っている	聞いた ことはある	聞いた ことがない
SDGs（持続可能な開発目標） 世界のさまざまな問題を解決し、持続可能な社会を実現するための包括的な目標として、世界各国が合意した17の目標。経済、社会、環境の3つの側面のバランスのとれた、持続可能な開発を目指している。	1	2	3
ESD（持続可能な開発のための教育） 環境、貧困、人権、平和、開発といった世界規模の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。	1	2	3
生物多様性 生物種の多様さを意味する語で、(1)「生態系の多様性」＝様々な生態系が存在すること、(2)「種の多様性」＝様々な生物種が存在すること、(3)「遺伝的多様性」＝種は同じでも、生息地域等に応じて遺伝子レベルで異なる特徴があること、という3つのレベルの多様性での保全が必要とされる。	1	2	3
パリ協定 地球温暖化対策に関する2020年以降の新たな国際枠組み。世界の平均気温の上昇を2より也十分低く保つため、すべての加盟国が自国の削減目標を掲げ実行するとともに、5年ごとにその目標をさらに高めることなどが合意された。	1	2	3
国民運動「COOL CHOICE」（クールチョイス） パリ協定で定められた温室効果ガス排出量の削減目標を達成するために、日本が世界に誇る省エネルギー・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。	1	2	3
海洋プラスチックごみ問題・マイクロプラスチック問題 プラスチックは、きちんと処理されず環境中に流出するものが多く存在する。流出したプラスチックが海に流れ込み、海の生態系に大きな影響を与えている問題を海洋プラスチックごみ問題という。 また、波や紫外線等の影響を受けるなどしたプラスチックが小さな粒子となって生態系に取り込まれ、大きな影響を与えることが懸念されており、マイクロプラスチック問題と呼ばれる。	1	2	3

<p>3R（スリーアール） Reduce（リデュース：ごみの発生・資源の消費をもとから減らすこと）、Reuse（リユース：くり返し使うこと）、Recycle（リサイクル：資源として再び利用すること）の3つの頭文字をとって“3R”という。ごみ減量には、Reduceが最も効果があるとされている。</p>	1	2	3
<p>食品ロス 本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のこと。日本では平成29年度に、約612万トンの食品ロスが発生したと推計されており、これを日本国民一人当たり換算すると、赤ちゃんからお年寄りまで、毎日お茶碗一杯分（約132g）の食べ物を捨てていることになる。</p>	1	2	3

4. その他

問9 その他、ご意見やご感想などがありましたら、ご自由にご記入ください。